

平成13年度 定期作況報告

7月20日現在
北海道立根釧農業試験場

気象概況

6月下旬から7月中旬までの気象概況は次のとおりである。

6月下旬：最低気温は9.5 で平年並みであったが最高気温が22.4 で平年より4.0 高かったため、平均気温は16.0 で平年より2.1 高かった。降水量は3.0mmで平年より15.0mm少なかった。日照時間は53.3時間で平年より19.9時間多かった。

7月上旬：最低気温は10.0 で平年並みであったが最高気温が16.8 で平年より3.1 低かったため、平均気温は13.4 で平年より2.0 低かった。降水量は29.0mmで平年並みであった。日照時間は20.5時間で平年より7.1時間少なかった。

7月中旬：最高気温は21.4 で平年並みであったが最低気温が13.9 と平年より1.5 高かったため、平均気温は17.7 で平年より1.2 高かった。降水量は46.0mmで平年並みであった。日照時間は23.0時間で平年並みであった。

この1ヶ月間は総じて、気温、降水量、日照時間ともに平年並みに推移した。

気象表

項目	6 月 下 旬			7 月 上 旬			7 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	16.0	13.9	2.1	13.4	15.4	2.0	17.7	16.5	1.2	15.7	15.3	0.4
最高気温 ()	22.4	18.4	4.0	16.8	19.9	3.1	21.4	20.6	0.8	20.2	19.6	0.6
最低気温 ()	9.5	9.3	0.2	10.0	10.8	0.8	13.9	12.4	1.5	11.1	10.8	0.3
降水量 (mm)	3.0	18.0	15.0	29.0	38.0	9.0	46.0	46.0	0.0	78.0	102.0	24.0
降水日数 (日)	5	2.8	2.2	9	4.3	4.7	9	3.5	5.5	23	10.6	12.4
日照時間 (時間)	53.3	33.4	19.9	20.5	27.6	7.1	23.0	27.1	4.1	96.8	88.1	8.7

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

. 当 場 作 況

1 . とうもろこし

作況：平年並

事 由 播種以降の気象は、気温が平年並、降水量が平年の77%、日照時間が平年の121%であった。

とうもろこしの草丈は90～93cm、出葉数は10.5～10.8枚であり、ともに平年とほぼ同程度である。

したがって、目下の作況は平年並である。

品 種 名	草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ワセホマレ	93	88	5	10.5	10.7	0.2
ヒノデワセ	90	92	2	10.8	10.9	0.1

注1) 「ワセホマレ」の平年値は前7か年のうち平成6および10年を除く5か年平均値

「ヒノデワセ」の平年値は前7か年のうち平成7および10年を除く5か年平均

2) は減を示す

2 . てんさい

作況：やや良

事 由 てんさいの草丈、葉数および根周はともに平年をやや上回っている。

したがって、目下の作況はやや良である。

品 種 名	草 丈 (cm)			葉 数 (枚)			根 周 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
モノホマレ	60	49	11	21.2	19.4	1.8	18.0	16.8	1.2

注)平年値は前7か年のうち平成6および10年を除く5か年平均値

3. 牧 草

(1) 採草型 (チモシー・アカクローバ混播)

作況：1番草 不良
2番草 やや良

事 由

1番草：チモシーの出穂期は平年より3日程度早かった。チモシー及びアカクローバの草丈は平年をやや下回り、生草収量は、3年目草地で冬枯れの影響により、1,000kg/10a以上少なかった。マメ科率は、3年目草地で冬枯れの影響により平年をかなり下回っていた。乾物収量は、全草地の平均で平年比86%であった。

したがって、作況は不良と判断された。

2番草：7月20日の草丈は、チモシーで平年より高く、アカクローバで平年並であった。

したがって、目下の作況はやや良と判断される。

草 地	草種	1 番 草								
		出穂・開花期(月・日)			草 丈(cm)			刈取日(月・日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「センホク」 3年目	TY	6.25	6.28	3	103	114	11	6.26	6.29	3
	RC	7.5	7.6	1	78	87	9	6.26	6.29	3
「ノツブ」 2年目	TY	6.25	6.28	3	105	109	4	6.26	6.29	3
	RC	7.2	7.6	4	82	83	1	6.26	6.29	3
「ノツブ」 3年目	TY	6.25	6.26	1	112	116	4	6.26	6.28	2
	RC	7.3	7.5	2	79	87	8	6.26	6.28	2

草 地	1 番 草									
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				マメ科率(生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較
「センホク」3年目	3,195	4,292	1,097	646	729	83	89	20.9	44.3	23.4
「ノツブ」2年目	4,323	3,991	332	650	636	14	102	66.0	59.2	6.8
	3年目	2,668	4,185	1,517	516	762	246	68	18.4	39.4

		2 番 草					2 番 草		
草 地	草種	7月20日草丈(cm)			草 地	草種	7月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較			本年	平年	比較
「センポク」 3年目	TY	40	32	8	「ノサップ」 2年目	TY	36	32	4
	RC	22	22	0		RC	23	23	0
「ノサップ」 3年目	TY	39	35	4					
	RC	21	23	2					

注1) TY：チモシー、RC：アカクローバ(品種「サッポロ」)

2) 平年値

「センポク」：3年目草地は平成8年および12年を除く5か年平均値

「ノサップ」：2, 3年目草地とも平成8年および12年を除く5か年平均

3) は減を示す

(2) 放牧型 (オーチャードグラス・ラジノクローバ混播)

作況：2番草 やや良
3番草 やや不良

事 由

2番草：草丈は両草種ともほぼ平年並であり、乾物収量は、全草地の平均で平年比105%であった。

したがって、2番草の作況はやや良と判断された。

3番草：7月20日現在の草丈は、両草種とも平年を下回っている。

したがって、目下の作況はやや不良と判断される。

草 地	草種	2 番 草						3 番 草		
		刈取り月日			草 丈(cm)			7月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「キタミドリ」 3年目	OG	7.2	7.1	1	57	59	2	41	46	5
	LC	7.2	7.1	1	37	35	2	22	27	5
「オカミドリ」 2年目	OG	7.2	7.1	1	59	63	4	39	42	3
	LC	7.2	7.1	1	40	37	3	22	25	3
「オカミドリ」 3年目	OG	7.2	7.1	1	61	62	1	43	46	3
	LC	7.2	7.1	1	37	35	2	22	26	4

草 地	2 番 草									
	生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)				マメ科率(生草%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比	本年	平年	比較
「キタミドリ」3年目	1,623	1,698	75	208	200	8	104	59.2	55.3	3.9
「オカミドリ」2年目	2,064	1,697	367	225	207	18	109	65.5	54.1	11.4
3年目	1,737	1,872	135	213	211	2	101	59.7	51.1	8.6

注1)OG：オーチャードグラス、LC：ラジノクローバ(品種「カリフォルニアラジノ」)

2)平年値

「キタミドリ」：3年目草地は平成9年および11年を除く5か年平均値

「オカミドリ」：2年目草地は平成7年および8年を除く5か年平均値

3年目草地は平成9年および11年を除く5か年平均値

3) は減を示す